

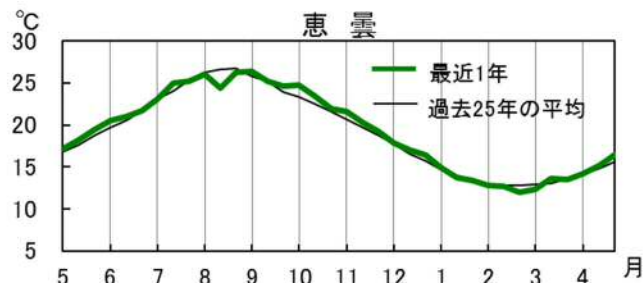
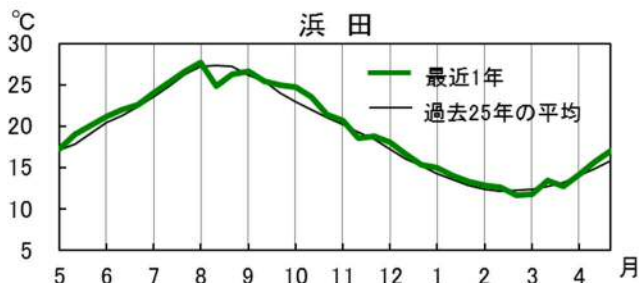


(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《4月の海況》



4月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	平年並み	15.6℃	+0.7℃	平年並み	15.3℃	+0.4℃
中旬	やや高め			平年並み		
下旬	かなり高め			やや高め		



《4月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではマアジ、サバ類主体の漁況でした。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは平年並み、サバ類は平年の4割でした。また、4月下旬より脂質含量10%を超える浜田市の水産物ブランド「どんちっちあじ」が漁獲されるようになりました。隠岐地区ではマイワシ、サバ類主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は97.6トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マイワシは4,917トンで平年の1.9倍、サバ類は2,556トンで平年1.8倍でした。

【イカ釣り漁業】

浜田地区(属地5トン以上)ではスルメイカ(全体の99%)が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は427.0kgで平年を上回りました。西郷地区(属人5トン以上)ではスルメイカ(全体の100%)が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は12.0kgで平年を下回りました。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではキダイ、スルメイカ、ケンサキイカが主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は14.3トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、キダイは平年の1.2倍、スルメイカは平年の1.5倍、ケンサキイカは平年の1.1倍でした。その他、マダイは平年の2.3倍、マトウダイは平年の1.9倍、マアジは平年の1.4倍と好調でしたが、アナゴ・ハモ類は平年の9割、アカムツは平年の8割、ソウハチは平年の7割、ムシガレイは平年の4割の水揚げでした。

【小型底びき網漁業】

大田地区(和江・久手)ではソウハチ、ヒレグロ、アンコウ類が主体の漁況で、総漁獲量は312トンでした。1統1航海当りの漁獲量は868kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ソウハチは平年の1.4倍、ヒレグロは平年の7割、アンコウ類は平年の1.6倍でした。その他、キダイは平年の2.1倍、マトウダイは平年の1.8倍、ヤナギムシガレイは平年の1.5倍、ムシガレイおよびヒラメは平年の1.4倍、アナゴ・ハモ類およびニギスは平年の1.3倍と好調でした。

【定置網漁業】

出雲地区ではマイワシ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は64.0トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マイワシは4月では9年ぶりの豊漁でした。石見地区ではマアジ、マルアジ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は4.4トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは平年の3割、マルアジは平年の122倍でした。隠岐地区ではブリ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は30.3トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の1.3倍でした。

【釣・縄】

出雲地区ではアマダイ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は23.1kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、アマダイは平年の2.9倍でした。石見地区ではアマダイ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は19.4kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、アマダイは平年の2.4倍でした。隠岐地区では、カサゴ・メバル類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は20.9kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、カサゴ・メバル類は平年の2.1倍でした。

【令和4年4月の漁獲統計】

※令和4年4月号から漁模様(◎、○、▲)の記載はありません。

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)		
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %
中型まき網	浜田	マアジ、サバ類	—	—	—	—	—	—
	隠岐	マイワシ、サバ類	8,297トン	113%	107%	97.6トン	164%	138%
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ	19.6トン	46%	177%	427.0kg	122%	212%
	西郷	スルメイカ	12.0kg	2%	0.4%	12.0kg	35%	14%
沖合 底びき網	浜田	キダイ、スルメイカ、ケンサキイカ	243トン	81%	92%	14.3トン	95%	100%
小型 底びき網	大田	ソウハチ、ヒレグロ、アンコウ類	312トン	159%	112%	868kg	158%	120%
定置網 (大型)	出雲	マイワシ	832トン	297%	294%	64.0トン	297%	283%
	石見	マアジ、マルアジ	17.6トン	55%	30%	4.4トン	41%	26%
	隠岐	ブリ	91.0トン	159%	119%	30.3トン	159%	119%
釣り・縄	出雲	アマダイ	24.9トン	98%	46%	23.1kg	77%	57%
	石見	アマダイ	21.6トン	131%	69%	19.4kg	107%	72%
	隠岐	カサゴ・メバル類	17.5トン	100%	67%	20.9kg	88%	65%

※ 平年比：過去5年(沖底のみ10年)の平均値との比較

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

※ 水温の評価「はなはだ○○」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ

「かなり○○」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ

「やや○○」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ

「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ